

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	下妻市役所			代表者名	菊池 博
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	0296-43-2117
担当者役職	主幹	担当者氏名	芦ヶ谷 悠平	連絡先E-mail	
住所	304-8501 茨城県下妻市本城町三丁目13番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	ハイブリッド市役所の実現事業		
概要	現在の行政手続きや、事務処理の方法に課題を感じて、職員自らが課題を発見する意識を持つようによる意識改革と、業務改善をする時間を生み出すためのタイムマネジメントについて、学びたいと考えている。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月9日	フォローアップ(実地)	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	下妻市役所	最寄駅	下妻駅	
	所在地	茨城県下妻市本城町三丁目13番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者のほとんどが研修内容に満足し、職員の地域DX推進に対する意識が大きく変わったため。今までは、住民が市役所に来ることが当たり前と考える職員が多かったが、研修を通して、アナログもデジタルも両方活用したハイブリッド窓口の重要性を知り、住民への選択肢を増やすことが大切と感じる職員が増えた。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的に支援をお願いしたいと考えています。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	50人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
	人数	50	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	下妻市は、令和5年にDX推進計画を策定し、デジタルとアナログの良い部分を掛け合わせた「ハイブリッド市役所」の実現を目指している。地域DX推進のために、まず窓口をはじめとして住民との接点をデジタル化する取り組みを行っている。一方で、デジタル化を実行するためには、職員自らが行政手続きの課題を発見し、業務改善に取り組むための時間を確保する必要がある。前回の研修に引き続き、DXの思考法と地域DXを推進するための周囲を巻き込むコミュニケーションについて学びたいと考えている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市職員のDX推進に対する意識改革を促進し、周囲を巻き込むコミュニケーションを向上させることで、全庁的に市役所窓口での申請手続き時間を短縮し、行政手続きのハイブリッド化を推進する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	前回の研修のフォローアップとして、DX推進リーダーを中心に、市全職員向けのDXの思考法と周囲を巻き込むコミュニケーションに関する研修会を行った。 DXを推進するために、既成概念に囚われない、未来志向でアイデアを発送する思考法を学んだ。 また、DXを推進するにあたり、周囲を巻き込んで行動につなげる情報共有のポイントを学んだ。			
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者のほとんどが研修内容に満足し、地域DXを推進するにあたり、住民のニーズ考え、将来のビジョンを持つことが重要という意識に変化し始めた。特に、窓口業務のオンライン化は難しいと今まで考えていた職員が、オンラインの窓口の重要性に気づくことができた。周囲を巻き込むコミュニケーションも学び、孤立しがちであったDX推進リーダーのモチベーションが向上した。			
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 アンケート分析結果を参照	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤組織業務改善ができた		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修を通して、窓口をハイブリッド化する地域DX推進の意識は高まったと感じる。ただ、意識改革はゴールではないため、これからDX推進課を中心として、周囲を巻き込んで「ハイブリッド市役所」の実現に向けて窓口の改革を進めていく。			
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)          アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>主な質問項目:          1.研修全体に対する満足度          2.将来への目標を持った取り組み          3.DXの思考法に対する理解度          4.DXの思考法を学んで思いつく課題          5.周囲を巻き込むコミュニケーションが実践に役立つか</p> <p>アンケート結果:          1.研修全体に対する満足度:          ・非常に満足、満足: 97%</p> <p>2.将来への目標を持った取り組み:          ・将来の業務に対するビジョンや目標を持つ大切さが理解できた100%          コメント: 研修で得られた知識やスキルが将来の業務に役立つと感じた</p> <p>3.DXの思考法理解度:          ・理解できた: 100%</p> <p>4.DXの思考法を学んで思いつく課題(住民のニーズ等):          ・住民のニーズ: 家や外にいながら下妻市のサービスを受けることができる          ・窓口に来庁する外国人の来庁目的の分析と外国人に対応したスマホ市役所の導入案内          ・地域全体のDX化。市と取引がある業者も、市役所に来なくて済む方法を考える必要がある</p> <p>5.周囲を巻き込むコミュニケーションが実践に役立つか:          ・実践に役立つ97%</p> <p>研修を通して、参加者が将来へのビジョンを持って、地域DX化を進める意識を高めた。          住民ニーズに着目し、アナログな窓口とオンラインの窓口両方を活用したハイブリッドな窓口が重要になることを再認識した。</p>			
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい オンライン予約が可能な窓口を増やす。 オンラインのみで完結する申請、オンラインで事前に申請して窓口で出力する申請など、住民や申請の内容にあった窓口のあり方を検討していく。	<input checked="" type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある		
4-4. 事業の最終的な目指す姿	住民との接点のデジタル化 1. スマホ市役所で申請できる行政手続きの充実 2. 書かない・待たない・行かない窓口の実現			
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">掲載許可</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input type="radio"/>掲載可</td> </tr> </table>			掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可			
<p><b>なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b></p>				

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



住民サービスを、一択(窓口)から選択(ハイブリッド)へ

**DX前**

職員の資質はデジタル重視  
(計算力・記憶力・真面目)



DX前：住民は役所の窓口に来ることが前提のサービス

**DX後**

職員の資質はアナログ重視  
(構想力・想像力・柔軟性)



住民は役所の窓口に来ても良いし、来なくても良い

